

2021年1月14日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス
代表者名 代表取締役社長 小林 茂
(コード：4583 東証マザーズ)
問合せ先 取締役経営企画室長 美女平 在彦
(TEL. 03-6383-3746)

がん治療用抗体 LIV-2008 および LIV-2008b に関するライセンス契約締結のお知らせ

当社は、本日付で、Shanghai Henlius Biotech, Inc. (本社、中国・上海市、以下、Henlius 社)との間で、当社が創製したがん治療用ヒト化抗 TROP-2 モノクローナル抗体 LIV-2008 および LIV-2008b のライセンス契約を締結しましたのでお知らせします。

本ライセンス契約において、当社は Henlius 社に中華人民共和国、台湾、香港およびマカオにおける LIV-2008 および LIV-2008b の開発、製造および販売権をサブライセンス権付きで許諾し、また、上記以外の全世界における権利についてはオプション権を付与しております。

契約の締結に伴い、当社は契約一時金として1百万ドル(約1億円)を受領するほか、開発および販売の進捗に応じたマイルストーンと製品上市後には製品の売上高に応じたロイヤルティを受け取ります。その総額は、Henlius社が上記のオプション権を行使して全世界での開発、製造および販売を行う場合には、最大約122.5百万ドル(約127億円)になります。

本契約締結により受領する契約一時金は、2021年12月期第1四半期において売上として計上いたしますが、その金額および2021年12月期の業績への影響は精査中です。

以 上

〈Henlius 社について〉

Henlius 社は、中国上海市に本社を置くグローバルなバイオ医薬品企業（香港証券取引所：SEHK 2696）で、高品質で革新的なバイオ薬品を提供することをビジョンとしています。Henlius 社は2010年の設立以来、研究開発から製造、商業化までの医薬品のライフサイクル全体を通じて、効率的で革新的な統合プラットフォームを構築してきました。20種類以上の多様なパイプラインを保有するほか、独自の抗 PD-1 モノクローナル抗体“HLX10”を基盤としたがん免疫療法における研究開発を継続して行っています。

〈LIV-2008 および LIV-2008b について〉

LIV-2008 および LIV-2008b は、乳がん、大腸がん、肺がんをはじめとする多くの固形がんの細胞表面に発現している抗原（標的分子）「TROP-2」の、それぞれ異なる領域に結合する2種類のヒト化モノクローナル抗体で、どちらも *in vivo* でがんの増殖阻害活性を示します。TROP-2 は正常組織と比較して、複数の固形がんにおいて発現が亢進していることから、がん治療の標的分子として期待されており、当社の研究チームは各種のマウスモデルで本抗体が強力な抗がん作用を有することを見出しております。